

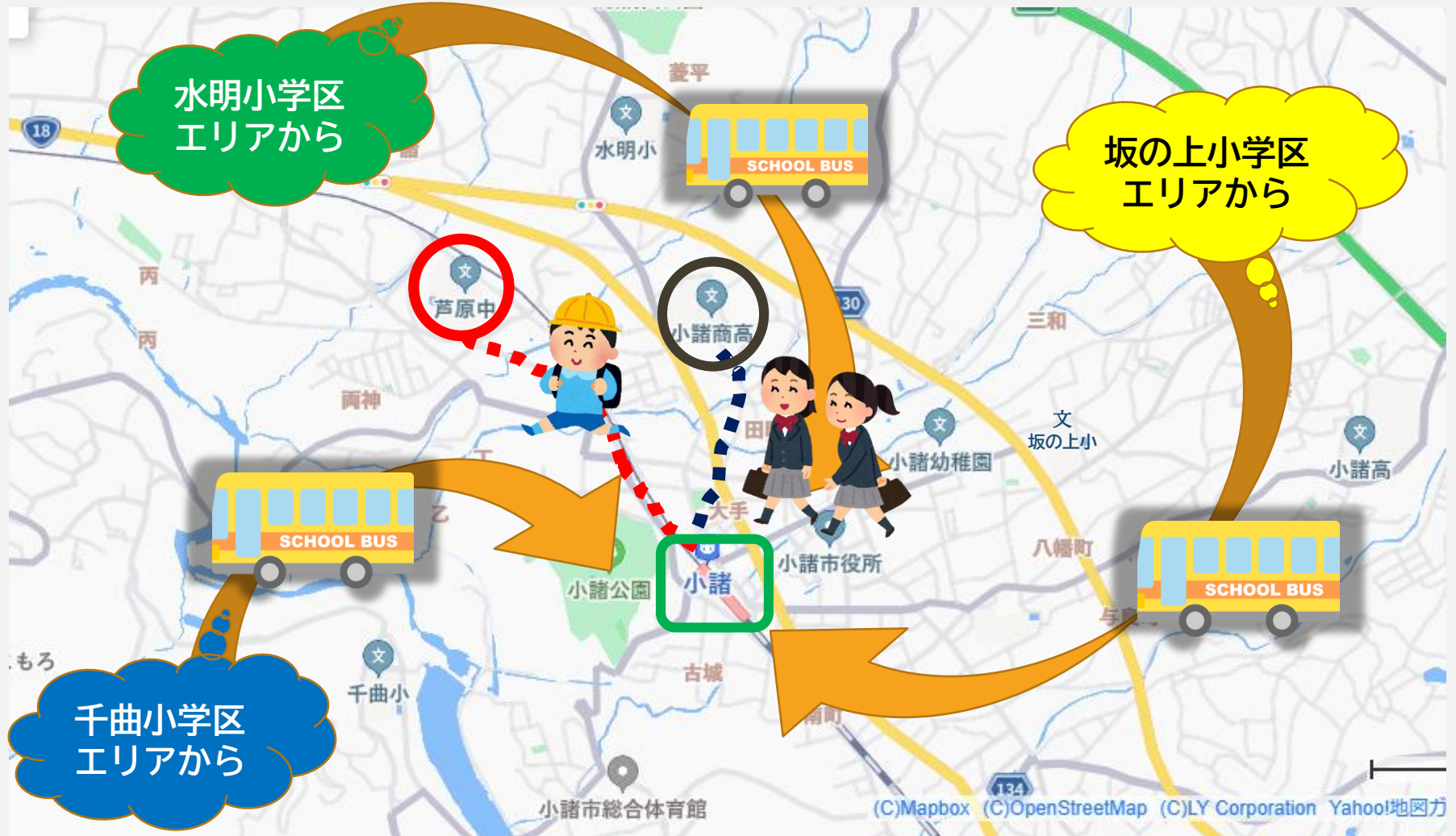
◆ 自治会運営の**好循環**を生み出す取組パッケージ アイデア ◆

- A) **防災士資格者**を増やし、自主防災組織（避難所開設訓練等）の中核的役割を担ってもらう
- B) 防災訓練などを**自治会公民館のイベント**と組み合わせ、**自主防災組織の実働的訓練**を行う
- C) 自治会において予算内の可能な範囲で、**定期的に最低限の食料等備蓄**を進め、賞味期限更新の際は**ローリングストック方式**で、自治会公民館のイベント時に参加者（区民）に配布する
- D) **万が一**、近隣区や市内外で災害発生時には、各自治会の備蓄品を行政を通じて融通提供する**覚書**を結ぶ
- E) 区費を払い自治会に加入することの意義は、地域間の【**顔が見え・声を掛け合う・助け合い**】に参加すること

《地域の防災力・防犯力を高めることに繋がる》

作成者：楚山 伸二

スクールバス & 徒歩 《小諸通学スタイル》 提案



芦原中～小諸駅 約1.1km
小諸商高～小諸駅 約0.8km

作成者：楚山 伸二

《小諸通学スタイル》の概要

- ① 学校へは直接スクールバスを乗り入れない ⇒ 学校周辺の送迎混雑の緩和
- ② 発着場所は、各学区エリアから「小諸駅」とする ⇒ 駅前の学生の賑わい
- ③ スクールバスには、小・中・高校生が「相乗り」 ⇒ 小中高生の交流
- ④ 小諸駅からは徒歩通学 ⇒ 始業前・放課後の空き時間は「駅前」で過ごす

《提案理由》

- a. 駅前空間・中心市街地の再整備活性化!! ⇒ 駅前との思い出・居場所づくり
- b. 統合小中学校の（学校バス用ロータリー）整備費の抑制 ⇒ 送迎車向けに
- c. 小諸駅から統合小中学校への通学路の一本化整備に集中 ⇒ 短期的整備可

【実現後のイメージ】

- ◆ 朝・夕、駅前に「若者の行き交う姿・まちづくりに参画する姿」が日常化し、小諸の『まちの顔』としての駅前空間整備が進み、若々しく映える！
- ◆ 毎日「徒歩通学」することで、『体力づくり』や通学路での「思い出づくり」などの効果が高まる！

作成者：楚山 伸二